

モジュール3

成功事例から学ぶ「世界観」とブランドアイデンティティの設計

【ワークの目的】

「世界観」という曖昧な言葉を、学芸員の視点で「自身の哲学（見え方）」として再定義します。ファンが共感し、専門家が評価せざるを得ない「ブランドアイデンティティ」へと昇華させ、SNSを単なる宣伝の場ではなく、観客を没入させる「バーチャル美術館」へと構築する基礎を固めます。

【Q1：仕組みによる意識の書き換え】

（AIワーク1：創作の源泉を掘り下げる「AIインタビュー」の結果を受けて）

AIによるプロのインタビュアーとしての問いかけに応じ、あなたの幼少期や価値観、創作の源泉を深掘りしたプロセスを振り返ってください。

- 自分一人では「当たり前」だと思って見過ごしていた過去の経験や内面の葛藤の中に、作品の「ブランド」としての核になる大切なストーリーが隠れていることに気づけましたか？ それは具体的にどのようなことでしたか？
- 単なる「色の統一」などの表面的な手法ではなく、自分自身の「世界の見え方（哲学）」を一貫させることこそが真のブランディングであると捉え直したとき、これまでの「誰かに合わせるような発信」への迷いはどう変化しましたか？ 具体的に書き出してください。

【Q2：学芸員視点による価値の再定義】

（AIワーク2：ターゲットに刺さる「癒やしのストーリー」設計を受けて）

特定のターゲット（あなたのターゲット）が抱えるストレスと、あなたの作品がそれをどう癒やすかという3つのストーリーを読んでください。

- AIが描いた物語の中で、あなたの作品が「単なる装飾品」から「誰かの人生に寄り添う芸術」へと進化したと感じた一節はどこですか？

- 「学芸員の審美眼」で抽出された「作品が届けるべき共感のストーリー」を確信したとき、あなたはSNSでの発信を「駅前のチラシ配り」ではなく、どのような「招待制の個展会場」として整えていきたいと感じましたか？

【Q3：理想の未来と社会への貢献】

（AIワーク3：洗練された「コンセプトタイトル」の量産を受けて）

あなたの作品の特徴を詩的で洗練された言葉に変えた、20個のコンセプトタイトルを確認してください。

- これらのタイトルが並ぶあなたのSNS（バーチャル美術館）に訪れた観客は、どのような感情の動きを経て、あなたのファンになっていくと想像できますか？

- あなたが「コンセプトの軸」を確立し、プロとしての信頼性を視覚的・言語的に提示し続けることは、現代社会で癒やしや刺激を求めている人々に対して、どのような「救い」や「豊かさ」を提供することになると確信していますか？自分が満たされるだけでなく、社会へ還元される価値を記述してください。

【本日のプロフェッショナル宣言】

風茜の教えと本日の内省を経て、あなたがプロとして一生守り抜くと決めた信念を清書してください。

「私は、学芸員視点の（ ）を磨き、自らの表現を通じて（ ）
というブランドアイデンティティを確立し、社会へ届け続けることを誓います」